

研究機関名：東北大学

受付番号：	2011-253
研究課題名	遺伝子不安定性(Microsatellite instability)陽性膵癌患者の検索と病態・免疫学的応答解析
研究期間	西暦 2011 年 10 月 (倫理委員会承認後) ~ 2016 年 9 月
対象材料	■病理材料 (対象臓器名 膵臓 (癌及び正常膵部分)) □生検材料 (対象臓器名) ■血液材料 □遊離細胞 □その他 () 上記材料の採取期間 西暦 2011 年 10 月~2016 年 9 月 (目標例数採取完了まで)
意義、目的	遺伝子変異を高精度に防ぐ機能 (DNA ミスマッチ修復機構) が壊れた状態が MSI で、膵癌でも一部に MSI 陽性膵癌の存在が確認され、全膵癌の約 5-15% に MSI 陽性膵癌が含まれる。これらは予後が極めて良く、通常の膵癌とは違った特徴的所見がある (hMLH1 遺伝子のメチル化による不活性化が多い)。免疫応答も活発である。MSI 膵癌を検査で発見し化学療法・放射線療法・免疫療法において治療効果との関係を検討することが目的で、膵管癌の治療や病態の解明に有益だと考えている。また免疫応答が高いという点を応用して免疫療法の開発にまで発展させたい。
方法	研究期間内に膵管癌切除症例 100 例について MSI 陽性膵癌を検査抽出する。①臨床病態、特に未だ明らかになっていない手術・化学療法において治療効果との相関を MSI の有無で比較検討する②免疫応答が強い MSI 陽性癌の特性から、フレームシフト変異由来ペプチドの抗原性を追求し免疫療法への基盤を確立する。③①・②のデータを統合し MSI という観点での膵癌個別化医療・ペプチドワクチン治療を提案する基礎資料とする。
問い合わせ等の窓口	宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院肝胆膵外科 電 話：022-717-7205 F A X：022-717-7209 担当者氏名：岡田 恭穂 (おかだ たかほ) (E-mail：) oka-p@surg1.med.tohoku.ac.jp